

大阪広域水道企業団と市町村との 水道事業の統合に向けての検討、協議について

【泉南市、阪南市、豊能町、能勢町、忠岡町、田尻町、岬町（7団体）】

（1）経緯

- H28. 4. 25 企業団と泉南市、阪南市、豊能町、能勢町、忠岡町、田尻町、岬町において「水道事業統合に向けての検討、協議に関する覚書」を締結
- H29. 7. 14 企業団議員全員協議会で企業団と泉南市、阪南市、豊能町、能勢町、忠岡町、田尻町、岬町との水道事業統合に向けての検討、協議（中間報告）を実施
- H30. 1. 26 企業団首長会議で企業団と泉南市、阪南市、豊能町、能勢町、忠岡町、田尻町、岬町との水道事業統合に向けての検討、協議（統合案）を承認
- H30. 7. 18 大阪府知事より企業団規約の一部変更を許可
統合に係る企業団規約の変更に関する議案が42団体の全議会（7団体については3月議会、残る35団体については6月議会）において可決されたことに伴い、大阪府知事に対し、企業団規約の変更を申請し、許可を受けた。
- H30. 7. 30 企業団と泉南市、阪南市、豊能町、能勢町、忠岡町、田尻町、岬町において「水道事業統合に関する基本協定」を締結
竹山企業長と竹中泉南市長、水野阪南市長、乾豊能町副町長（代理出席）、上森能勢町長、和田忠岡町長、栗山田尻町長、田代岬町長が、「企業団と泉南市、阪南市、豊能町、能勢町、忠岡町、田尻町、岬町との水道事業の統合に関する基本協定」の締結式及び共同記者会見を実施した。

（2）検討・協議【概要】

- ・統合希望団体の施設整備計画、経営計画の策定
- ・統合後の事業運営体制の検討
- ・水道事業統合促進基金の創設
- ・統合メリット（定量及び定性の両面）の整理

（3）今後のスケジュール【概要】

平成 30 年度 統合準備

（事業認可取得、給水条例案作成、人事・予算の調整等）

企業団議会において給水条例案、予算案等を審議

平成 31 年度 事業開始（能勢町は平成 36 年度から）

【藤井寺市、大阪狭山市、熊取町、河南町（4団体）】

（1）経緯

H30.10.9 企業団と藤井寺市、大阪狭山市、熊取町、河南町において「水道事業統合に向けての検討、協議に関する覚書」を締結

竹山企業長と國下藤井寺市長、古川大阪狭山市長、藤原熊取町長、武田河南町長が、「企業団との統合に向けての検討、協議に関する覚書」の締結式及び共同記者会見を実施した。

河南町：町議会議員全員協議会（H30.5.15）において、「厳しい経営状況の中、統合のメリットを最大限に活かし、水道事業運営において安全・強靱・持続を達成するため、『河南町水道事業ビジョン』のロードマップに示しているとおり、平成33年度の企業団との統合をめざし、検討、協議を進めていく」旨を表明。

大阪狭山市：市議会議員全員協議会（H30.6.25）において、「水道事業の課題として、給水収益の減少、施設の老朽化に伴う更新費用の増加、職員の技術継承の困難化などがあり、これらの課題解決に向け、企業団との水道事業の統合について、具体的に検討、協議していく」旨を表明。

熊取町：町議会議員全員協議会（H30.9.12）において、『熊取町第4次総合計画』において、府域一水道に向けた企業団との統合について検討していくとしている中で、「勉強会を通じ、企業団との統合により、施設の最適配置による事業費や維持管理費の低減、府補助金の活用などの定量的メリット、及び非常時対応の充実などの定性的メリットが発現することが確認できたことから、企業団との水道事業の統合に向けての検討、協議を進めていく」旨を表明。

藤井寺市：議会総務建設常任委員会協議会（H30.9.20）において、「市民の水を守り、持続可能な水道事業のあり方について検討していくため、企業団との統合に向けた検討、協議に関する覚書を締結する」旨を表明。

（2）検討・協議【概要】

- ・統合希望団体の施設整備計画、経営計画の策定
- ・統合後の事業運営体制の検討
- ・統合メリット（定量及び定性の両面）の整理

（3）今後のスケジュール【概要】

- 平成30年度 統合素案の策定（～平成31年度末）
- 平成31年度 統合案のとりまとめと企業団規約の変更議決（4団体）
- 平成32年度 企業団規約の変更議決（その他の団体）
統合に係る協定書の締結
統合準備
（事業認可取得、給水条例案作成、人事・予算の調整等）
企業団議会において給水条例案、予算案等を審議
- 平成33年度 事業開始